

第7回 教育研究評議会議事要録

日 時 平成16年7月21日(水) 午後1時00分～午後2時45分
場 所 第1会議室
出席者 久米学長、重定理事、井上理事、原理事、奥村文学部長、野口理学部長、
西村生活環境学部長、矢野人間文化研究科長、的場附属図書館長、水上附属学校部長、
出田、森岡、池原、富崎、磯田、清水、今井、坂本各評議員
列席者 位田総務・企画課長、上岡人事課長、河井国際課長、吉田研究協力課長、
米平財務課長、水間施設企画課長、山本学務課長、鈴木入試課長、植田図書課長

I 審議事項

1. 奈良女子大学教育・学生支援統括室設置要項等の制定に伴う関係規程の廃止に関する規程(案)について
総務・企画課長から、資料1により制定の趣旨及び規程(案)の内容について説明があり、学長から諮られ、審議の結果、原案どおり承認し、本日付けで施行することとした。
2. 国立大学法人奈良女子大学特任教員取扱要項(案)について
人事課長から、資料2により制定の趣旨及び要項(案)の内容について説明があり、学長から諮られ、審議の結果、第3条の「大学教員に準じて」を「常勤の大学教員に準じて」に、第5条の「同一人の同一職務内容による」を「同一人の同一職務内容(称号)による」に修正することとして承認し、本日付けで施行することとした。
3. 平成16年度プロジェクト経費採択(案)について
プロジェクト採択審査会委員長である重定理事から、資料3により今年度の採択(案)について説明があり、学長から諮られ、審議の結果、原案どおり承認した。
なお、各部局における審査結果報告の取扱いについて意見交換があり、採択されたプロジェクトについて、申請額を除き、全ての項目を報告することとした。

II 報告事項

1. 国立大学法人奈良女子大学における大学の評価に関する規程等の制定について
学長から、検討の経緯等について説明の後、7月14日開催の部局長会議で承認し制定された規程及び要項の趣旨・内容等について、重定理事及び井上理事から資料4-1～4-13により報告があった。
なお、各室の業務実施に係る各学部等への情報の流通方法について意見交換があり、今後適切な方法を検討することとした。
2. 国立大学法人奈良女子大学放射線障害予防規定等の制定について
研究協力課長から、資料5-1～5-4により制定の趣旨及び規定内容について報告があ

った。

3. 平成16年度計画に係る実績担当について

学長から、資料6により年度計画の実績取りまとめ担当を整理した旨報告があり、併せて早期の計画実施について依頼があった。

4. 大和文華館との連携協力に関する協定について

井上理事から、資料7により連携協力の目的、経緯及び協定内容について報告があった。

5. 全学流動化ポストに係る教員人事について

学長から、全学流動化ポストの教員人事について、次のとおり報告があった。

(1) 教授ポストを人事の対象とし、「広い意味での社会連携」担当教授の採用を予定していること。

(2) 採用の時期については、可能であれば4月1日を待たず早期の着任もあり得ること。

(3) 全学的な業務担当を前提とするが、教授会との関係及び講義担当・学生指導担当については、着任後に関係部局とも協議のうえで取扱いを定めたいこと。

(4) 選考は本学職員採用規程に基づき進めることとし、両副学長、各学部長、人間文化研究科長、附属図書館長及び附属学校部長からなる選考委員会を設置して行うこと。

(5) 助手3名のポストに係る教員人事についても早期に着手したいこと。

6. 生活環境学部 J A B E E 認定申請への対応について

学長から、検討の経緯について説明の後、7月14日開催の部局長会議において申請に向けた準備を進めるために可能な範囲で全学的に協力することを大筋で承認したこと及び具体の取扱いについて企画推進会議で検討の結果、J A B E E の求める水準を満たすことのみを目的とする特別な教育方法の改編措置は行わないことを確認し、当面、成績評価に用いた試験問題等の提供について、副学長（教育・学生支援担当）から非常勤講師を含む該当科目担当教員に文書で依頼することとした旨報告があった。

7. 平成16年度「21世紀COEプログラム」について

学長から、本学が申請した「古代日本形成の特質解明の研究教育拠点」が選定された旨報告があった。なお、審査結果は本日午後5時に報道解禁されること及び本学において明日午後1時30分から記者発表を行う旨併せて報告があった。

8. 平成16年度「特色ある大学教育支援プログラム」について

学長から、本学が申請した「専門及び学際的教育の構造化プログラム」がヒアリングの対象となり、7月12日に審査委員会に対し説明を行った旨報告があった。

9. 平成16年度「現代的教育ニーズ支援プログラム」について

学長から、今年度新たに公募のあった当該プログラムについて、企画推進会議での検討を経て「女子学生のための英語教育高度化プログラム」（仮称）を申請することとして準備を進めている旨報告があった。

10. 平成16年度「海外先進教育実践支援プログラム」について

学長から、今年度新たに公募のあった当該プログラムについて、現在各学部等において募集を行っている旨報告があった。

11. その他

井上理事から、7月17日に実施した平成16年度第1回オープンキャンパスが無事終了したことの報告並びに協力に対する謝辞があった。また、入試課長から、資料8により参加者数等の報告があった。

次回教育研究評議会を9月15日（水）午後1時から開催することとして散会

以 上